

編集後記

本号の「新春放談」で、原著論文に関するさまざまなお話をうかがった。筆者が以前、西岡 清先生、片山一朗先生の下で働いていた時期は、回診やカンファランスの折に、「原著をよく読んでみろ。そんなこと書いてないから」という言葉がたびたび飛び交っていたのが懐かしい。学会発表後のディスカッションでも、「原著によれば…」という意見を聞くこともあったが、最近はほとんど聞かれなくなっている。

先日開催された、とある学会で「これがアロポー稽留性肢端皮膚炎？」という演題が続いたそうで、後で意見を聞かれた。岡山大学から出された『原著に学ぶフランス皮膚科学の古典』を見ると、acrodermatite continue d'Hallopeauは、複数の指趾に絶え間なく膿疱が出現する肢端皮膚炎とされ、ムラージュも掲載されている。英語表記でacrodermatitis continuaという病名に統一される以前には、同様の病態がacropustulosis, pustular acrodermatitis, acrodermatitis perstans, dermatitis repensといった病名で報告されていた。「稽留」と和訳された言葉は、継続してずっとあるという意味であるが、最近の論文によると、とくに爪を侵す膿疱性病変が3カ月以上継続しており、乾癬はあってもよいと、コンセンサスダイアグノシスとして記載されている。このような基準は、合致すればすべてそのように診断されるというわけではなく、他疾患との鑑別が必要という条件付きであることを覚えておく必要がある。そうでないと、乾癬や掌蹠膿疱症でアロポー稽留性肢端皮膚炎と診断されてしまう例はいくらでも出てしまう。

原著論文は数例のみの記載であることもある。その後の長い期間の中で多数例を検討していくうちにオリジナルの概念とは異なってくることもあろうし、皮膚病は時代とともに変化するのもまた事実である。人種差による表現型の違いもあるであろう。しかしその一方で、あまりに拡大解釈されてしまうのはやはりよろしくないと思う。

(T.Y.)

次号予告

Vol.41, No.2

特集 臀部の皮膚疾患(仮)

◆editorial

山本 俊幸

◆展望

皮膚科医が知っておくべきシーティングの知識

日高 正巳

◆臨床例

Coccygeal pad

岡橋 一憲ほか

診断確定までに約3カ月を要した臀部真性皮膚結核

菊澤 千秋ほか

急激な経過をたどった、CD56陽性・ALK陰性全身型未分化

大細胞リンパ腫

高島 有香ほか

難治性臀部潰瘍を呈した抗リン脂質抗体症候群

松尾 雄司ほか

臀部慢性膿皮症から生じた有棘細胞癌

沼田 智史ほか

直腸癌の穿孔による腰部臀部ガス壊疽

森村 壮志ほか

患者用トイレの暖房便座を介した疥癬の集団感染

西原 克彦ほか

臀部慢性膿皮症に対する瘻孔上蓋開放術

田中 了

ピコスルファートナトリウムあるいはセンノシドが

原因と思われた固定薬疹

道下 和典、石田 清

Coccygeal pad

井上 剛ほか

局所麻酔薬が原因と考えた術後左大腿部皮疹

馬場加那子ほか

臀部慢性膿皮症から発症した有棘細胞癌

武田 佳奈ほか

Diaper area granuloma of the aged

平田 佳子、横内麻里子

感染を伴った限局性リンパ管腫

矢野優美子ほか

◆皮心伝心

AIのある世界——人生は旅程のない道(たび)——

石黒 直子

◆私の視点

最初に痒みありき!!

石川 治

◆蝶の博物詩

西山 茂夫

◆診察室の四季

斉藤 隆三

◆皮膚科のトリビア

浅井 俊弥

◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 41, No.1(2019)

平成30年12月25日印刷

平成31年1月1日発行

1部定価2,800円(本体)+税 送料別

年ぎめ予約購読料39,000円(本体)+税

発売所／丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 斉藤 隆三

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5 3階

電話:03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座:00190-0-36746

印刷所 株式会社 エイチケイ グラフィックス

ご購読ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2019年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。